

臨床検査科



とちぎメディカルセンターは地域完結型医療を目指して設立されました。その中で当院は急性期医療を担っており、それに対応するため臨床検査科では、24時間緊急検査体制を構築しており、常に迅速・正確な検査情報を提供することを心がけています。

検査データについては、内部精度管理の充実、外部精度管理の参加により、常に良質な検査精度を維持しています。

また、最新の検査技術や知識を習得するため、各種学会や研修会に積極的に参加しています。

臨床検査科
科長 高野 洋志

臨床検査科基本方針

高度な検査精度を堅持します
迅速な検査情報の提供に努めます
感染予防対策を徹底します
知識と技術の向上に努めます

はじめに

臨床検査科は患者さんから採取された血液・尿・組織などを検査する検体検査と人体からの生体情報を直接検査する生理機能検査の二つの部門からなり、病気の状態の把握や診断および治療に必要な情報を医師に提供しています。24時間の緊急検査体制を整え救急患者の受け入れ、入院患者の治療を支えています。またチーム医療ではICT（感染対策チーム）、NST（栄養サポートチーム）、糖尿病療養指導士による糖尿病教育入院にも参画しています。

各部門の紹介

検体検査

血液・尿中などの各種成分をいくつもの分析装置を用いて測定し様々な病気の診断、治療に必要な結果を数値データとして報告しています。

新病院の検体検査室は病院建物2Fのほぼ中央に配置され1F採血室、3F～6Fの各病棟とダムウェーター（小荷物エレベーター）で接続、また救急外来とは専用のエアシューター（気送管）を使い迅速な検体搬送が可能となりました。緊急検査に必要な装置を一か所に集約することによって24時間体制の急性期病院としての役割の一端を担っています。



輸血検査

血液型検査や不規則抗体検査を行い、治療、手術に必要な輸血製剤を準備しています。全自動輸血検査システムを導入し安全性を高め、精度管理の向上を図りました。

認定資格を持った検査技師を専任で配置し年6回の輸血療法委員会を開催、院内スタッフへの情報提供、安全な輸血のための啓蒙活動を行っています。



細菌検査

採取した便・尿・喀痰などを、顕微鏡を用いてさらに培養同定検査により感染症を引き起こす細菌を検査し、どんな抗生物質が有効か判定します。また迅速同定キットを導入しウィルス、細菌の感染を短時間で検査します。

院内感染の予防対策のためICTの一員として検出菌、薬剤感受性の情報提供、院内回診を行っています。



生理機能検査

心電図、脳波、呼吸機能、超音波検査など患者さんの生体情報の検査を行います。専門医の指導のもと睡眠時無呼吸検査を200人/年施行しています。

地域連携機能の一環として地元の開業医と医療機器の共同利用を行っており、超音波検査、脳波検査、ホルター心電図で実績を重ねています。また当院は日本超音波医学会の超音波専門医研修施設として認定されており、専門医を目指す医師が研鑽に励むことのできる環境を提供しています。

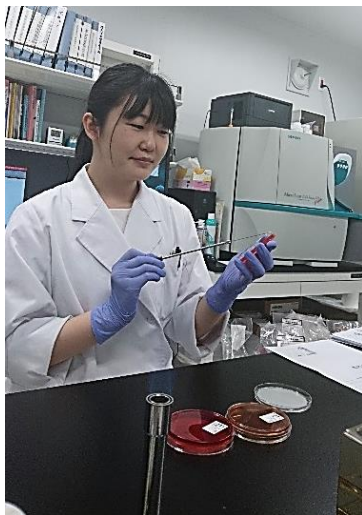


臨床検査科 1年目の声

とちぎメディカルセンターしもつがに勤務し、もうすぐ1年になります。現在細菌検査室を担当し感染症の原因菌や菌の薬剤に対する耐性があるかなどを調べる検査を中心に行っています。

臨床的なことで覚えることがたくさんあって大変ではありますが、臨床検査は、どの部門も病気の発見に繋がったり治療に関わったりするので、やりがいを感じています。

また、大学校の先輩方も多く、ご指導いただきながら日々仕事に取り組んでいます。



臨床検査科 相米さん